研究者リーダーシップ・プログラム

「第4回キャリアアップのためのアクションプラン-Step1」参加レポート

私がこのプログラムに参加させていただいた理由は、大きく2つあります。1つは、これまでの経験の中で求められることがなかったリーダーシップ力について、自分に備わっている自信がなく、将来的に必要となる場面に備え、スキルを身に着けたいと考えたことです。2つめの理由は、自身の研究テーマである「障害のある方を対象とした福祉機器開発」に関し、当事者、エンジニア、医療従事者など、多職種連携をしていく中で、コミュニケーションスキルやリーダーシップ力が必要であることが研究ベースで明らかになったことです。機器開発の中で必要とされるスキルを探索するため、そもそもリーダーシップ力とは何かを学びたいと考えています。

4回の研修では、「私の強味と課題を発掘する」というコンピテンシシートを用い、考える力、やりとげる力、人を動かす力、組織を強くする力、について自己評価し、グループメンバーに開示するワークショップを行いました。このような作業を通し、改めて自身に欠けている点、意外と備わっていた点など、主観的に感じることができました。また結果を開示することで、客観的な意見をいただけたことに留まらず、参加者の皆さんの強味や思いを知ることができました。

今回の研修に参加させていただくことで、リーダーシップ力が求められる場面では、自己理解や他者理解を深めながらチームを推進していくことが重要であることを学びました。改めて、このような学びの機会をいただき、心より感謝申し上げます。

(西浦裕子・名古屋大学大学院医学系研究科 助教)